ボーリング柱状図

1 4 1 3 9 4 = 2 = 2 ボーリングNo. 忠生579号線地質調査業務委託 調査名 事業・工事名 ボーリング名 35° 36' 0.1" 調査位置 東京都町田市上小山田町地内 町田市 調査期間 平成27年1月16日~27年1月21日 139° 23' 50.3" 発注機関 東 経 現場 ボーリン 調査業者名 主任技師 代理人 グ責任者 ハンマー 地盤勾配 使用機種 試 錐 機 鉱研 SD-3A 半自動落下装置 孔口標高 上 +127.89m 落下用具 90° 90° 鉛直 [24] 莱 ポンプ 総掘進長 38.20m エンジン ヤンマー HA-4B FUSO V5-P 180° 帧 色相相 記 標 層 柱 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 孔内水位 試 験 名 10cm毎の 値 進 質 対対 深 打撃回数 および結果 深 試 採 0 = 尺 高 厚 度 状 料 取 0 10 20 度 度 月 測定月日 密稠 X 番 方 m 号 法 m 調 度 度 暗褐 – 分 表土· 粘性士 暗褐 60 黒ボク土主体、含水中位 草木根が多量混入 127.39 粘性中位 全体に径2mm程度のスコリア片 及び浮石が混入 0.5~1.5m、草木根が少量混入 2~4m、やや硬質 黄褐 3 物理一UU 1 1 1 3 4.47 11 11 32 4.50 物理 5, 40 122, 49 4, 90 5, 40 5.55 6 軟ら 粘性強い かい全体に径2mm程度のスコリア片 〜中及び浮石が混入 位 下部につれて硬質となる 凝灰質粘土 暗褐 7.15 2 2 2 6 7,50 12 12 11 35 8.15 2 2 2 8.48 11 12 119, 39 3, 10 8, 50 9 9, 15 径2~30mm程度の円礫~亜円礫 主体 確認最大粒径80mm マトリックスは粘土質細砂 含水中位 6 8 10 24 24 0 30 中位 〜密 粘土混 黄 り砂礫 灰 10 10.15 8 7 15 30 30.0 116,89 2,50 11,000 11 19 20 11 50 50.0 11.40 5 25 12. 15 24 26 径2~30mm程度の円礫~亜円礫 12 金2~30mm程度の円標~亜円線 主体 確認最大粒径80mm マトリックスは粘土混り細砂 全体に粗砂が混入 逸水あり 11.9~12.0m、砂を挟む 50 88, 2 17 12, 32 黄灰 13 50 100. **o** 14. 15 39 11 14. 27 2 14 50 12 113, 19 3, 70 14, 70 00 00 15. 15 14 16 20 50 55. 6 15. 42 7 27 15 19 16. 15 14 16 20 50 55, 6 16. 42 7 27 16 砂粒子ほぼ均一、含水中位 径2~30mmの礫が点在 17, 15 17, 41 17, 41 17, 41 17, 41 17, 41 17, 41 18, 50 17, 7 17 18 1/22 15 18 17 50 57.7 18.80^{18.41} 6 26 19 20 20. 15 25 25 20. 32 7 21 22 23 23. 15 23 27 23. 32 7 24 25 暗黄灰 砂粒子細かい、含水中位~や 50 93.8 16 や多い 所々、半固結状をなす 26 26, 15 23 27 26, 32 7 27. 15 27 23 27. 30 5 27 28 28, 15 28 22 28, 31 6 29, 15 29, 30 31 19 5 29 1 20 30 30, 15 33 17 30, 29 4 50 14 31 31. 15 35 15 31. 28 3 96.09 12.90 31.80 砂粒子やや不均一、含水中位 径5~30mm程度の礫が不規則に 混入 磯混り 暗黄 非常 細砂 灰 な 32 0.80 32.60 雑説り 細砂 9 166. 7 33 33, 15 43 7 33, 26 1 34 34, 15 50 34, 23 8 50 8 187, 5 砂粒子はぼ均一、含水中位 所々、半固結状をなし,棒状コ アにて採取される 36.6~37.0m、礫が点在 35. 15 50 35. 24 9 35 50 9 166, 7 暗緑灰 細砂 36 50 7 214.3

> 37. 15 50 37. 22 7

38, 15 50 38, 20 5 50 214.3

50 300. 0

21

37

38 89, 69 5, 60 38, 20